

10.九州（地域別調査機関：（財）九州経済調査協会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	家電量販店（店員）	・最近大きな買物をする方が増えてきた。消費抑制に限界が来ている。このままいくと少しずつ良くなっていく。
		家電量販店（企画担当）	・昇給や賞与も伸びているので、短期的には少しずつ良くなっている。
		自動車備品販売店（従業員）	・売上・客数共に前年比10%アップを維持している。これが今後も継続する。
		高級レストラン（スタッフ）	・来客の様子からは、今後人の動きが活発になるような感じを受ける。
		一般レストラン（スタッフ）	・12月、1月の忘新年会シーズンのメニューを出したが、チラシ広告の反応が非常に良かった。当店に関しては売上アップの期待を持っている。
		美容室（店長）	・成人式の着付けの予約が前年より多く、それに伴いフェイシャルエステ等の需要もあるため、少しは良くなる。
		変わらない	商店街（代表者）
	商店街（代表者）		・歳末商戦に向けていろいろなPRをやっているが、なかなか客の動きが良くない。悪い状況はこの先も続く。
	百貨店（営業担当）		・セール企画等を行ってもなかなか買上まで結び付かず、イベント企画も苦戦している。この傾向が今後も続く。
	百貨店（営業担当）		・客の購買態度は依然として慎重であり、必要不可欠なものしか購入していない。この傾向が今後も続く。
	百貨店（営業担当）		・現在の悪い状況が2～3か月後も続く。為替や原油価格の問題もあるが、客そのものの購買行動が変わってきており、ブランド品が売れるという時代はもう過ぎている。また、この冬は暖冬傾向なので、コート等従来の季節商品の動きが鈍い。これが年明けのクリアランスになっても続く。
	百貨店（営業担当）		・友の会の購入券への交換率、回収率が共に若干遅れ気味である。また友の会新規会員募集は好調に推移しており、客の景気への警戒感が感じられる。
	百貨店（販売促進担当）		・お歳暮の受注量から判断すると、景気は回復しない。
	百貨店（営業企画担当）		・消費者の商品を選ぶポイントが多様化したほか、買上先も拡大しており、大きく集客の効果が期待できない。
	スーパー（店長）		・今後もあまり変化がないと思われる、ジュエリー、インポートのバッグ、時計等の高額品が、従来に比べ非常に動きが悪い。また、今月は婦人服がかなり売れているが、気温が下がらず、コート等の重衣料の売上が悪く、その結果値下げが早くなるとみられる。2、3か月先は、現状以上の売上は望めない。
	スーパー（総務担当）		・食料品は前年並みに推移してきているが、衣料品、住居用品が前年に届かず、気温の変化にかなり影響され、動きが鈍い状況が続いている。この傾向が今後も続く。
	スーパー（総務担当）		・暖冬が予測されるため、冬物衣料、冬物用品中心に伸び悩む。
	スーパー（企画担当）		・暖冬となる見通しであり、鍋商材やホットメニュー商材の動きは横ばいか若干動きが鈍ることが予想される。しかし、現在好調な製造業主導という地域柄、全般的には現状の景気のまま推移する。
	スーパー（経理担当）		・野菜の高値も落ち着き、消費意欲も平靜に戻る。
	コンビニ（エリア担当）	・既存店の伸びが厳しい状況で、近くに競合店も多く出店しており、今後も売上鈍化の傾向は変わらない。	
家電量販店（経営者）	・売上は少しずつではあるが良くなってきたものの、大きく伸びるきっかけが見当たらない。この傾向が今後も続く。		
乗用車販売店（販売担当）	・経済の先行き不透明感がある中で、車を購入したいという客は増えているが、実際には慎重でなかなか買い求められない。		
住関連専門店（経営者）	・家具関係の景気の回復は、まだ先が見えない。年末は大物家具の動きはあまり期待できないため、年明けを期待している。		
その他専門店〔医薬品〕（従業員）	・売価は下げ止まったようだが、必要なもの以外に買上点数が増えることはない。		

	その他専門店 [ ガソリンスタンド ] (統括)	・原油価格自体は高止まりから落ち着きつつある。国内の石油類の価格も下がる傾向にあるため、燃料油などを原価とする業界もひと息つきそうである。現在の状況が変わらない。
	その他小売 [ 雑貨卸 ] (総務担当)	・年末年始の商戦が始まるが、財布のひもが固く、ボーナスの見通しもわからないため、景気の先行きが見えない。
	高級レストラン (経営者)	・店舗の来客数や売上は変わらない。待っているだけでは売上は上向きにならないので、おせち料理や土産の販売に取り組む等、試行錯誤している。
	高級レストラン (専務)	・だんだん全体的にどこも悪くなっているようで、九州新幹線開業の影響が少し薄れている。
	一般レストラン (経営者)	・今年に入り宴会の需要が少し良いため、今後もそう苦しい状況にはならない。売上は3か月後もほぼ一緒である。
	スナック (経営者)	・増税や円高などを懸念して、景気が一時停滞気味になる。また、原油価格の高騰等で景気が押し下げられれば、我々のようなサービス業にはかなり影響がある。
	旅行代理店 (従業員)	・韓流ブームは継続しそうである。マレーシア、パリ等のアジアへの直行便がプラスとなる可能性がある。国内は、関東の大型テーマパークが伸びず、東京方面の需要が弱い。
	タクシー運転手	・例年であれば歳末商戦や忘年会の音が聞かれるが、今年は一方向に明るい話が聞かれない。また、客が買い控えをしている話が多い。この傾向が今後も続く。
	通信会社 (業務担当)	・12月も引き続きキャンペーンが実施されるが、年末商戦の盛り上がりには欠け、平日の来店客数及び販売台数はあまり上昇するとは考えにくい。
	ゴルフ場 (従業員)	・予約は前年を上回っているが、単価はコンペ等で値引き合戦が激化しており、総合的には売上、経費等は変わらない。
	設計事務所 (所長)	・受注額も上がると思ったが、なかなか厳しく、設計には至らない。今後は変わらないか、若干悪くなる。
やや悪くなる	商店街 (代表者)	・買物客が大変少ない上に、客の収入も減っているため、大変悪くなる。
	百貨店 (売場主任)	・衣料品は、客の購買意識をくすぐるような商品が出てきそうにないし、我々小売もそのような提案ができそうにない。景気は悪くなる。
	百貨店 (営業担当)	・来店客数が伸び悩んでおり、前年を下回っている。この状況はこれからも続く。
	百貨店 (販売促進担当)	・震災等を含め、いまだ暗い雰囲気が人々の心に漂っている。クリスマス商戦が盛り上がらない様子で、冬物商材の売行き悪さを見ていると、今後も景気が良くなる可能性は低い。
	スーパー (店長)	・これまでは野菜の価格が高騰し景気が良かったが、来月は野菜がふんだんに出回る。また、豚レバーのE型肝炎ウイルスの問題等に客が敏感に反応するので、かなり厳しい売上になる。
	スーパー (店長)	・来年は今年以上に国民の負担が増えるので、生活費を削り、買物はよりシビアになる。また、近隣に食品スーパーが新装オープンするので、その影響もある。
	衣料品専門店 (総務担当)	・今月中旬以降、年末売出の大型チラシを月に12回入れているが、客数は前年に比べ減少している。今後も減少傾向が続く。
	その他専門店 [ 書籍 ] (店長)	・現状では、自店の努力だけでは浮上が難しい。2月には天神地区中心部に地下鉄新路線が開通し、地下街も延伸することとなるが、当店は郊外の大型商業施設と中心部のイベントに挟まれ、集客に苦戦しそうである。
	高級レストラン (経営者)	・今後の予約の状況から考えると、景気は悪くなる。
	旅行代理店 (業務担当)	・家族旅行などの観光性旅行の受注が少ない。特に、例年冬休みに増えてくる関東の大型テーマパークへの旅行の受付が悪い。増税議論や社会保険料の負担増と景気が良くなっているといわれている割には給与増につなげていないことなどから、支出に慎重になっている。
	タクシー運転手	・タクシーに乗る客が、多少遠いところは先に値段を決め、それで行ってくれという等、いくらかでも値段を引き下げていこうという動きがある。単価の引下げがかなり出ており、今後それが定着する。
	美容室 (経営者)	・客の顔を見ても話をしても、いい材料が見当たらない。
悪くなる	コンビニ (店長)	・全く先が不透明である。学卒者もなかなか就職が決まらず、フリーターとなってぶらぶらしている人が多い。

		衣料品専門店（店長）	・例年であれば前期の売上が悪くても10月からは回復するが、今年は10月11月とも売上が回復しない。大型台風や新潟中越地震などの自然災害が消費マインドを冷やし続けたほか、郊外での大型商業施設の出店も影響している。
企業 動向 関連	良くなる やや良くなる	-	-
		農林水産業（従業者）	・霜の降り始める時期が近づき、九州の園芸作物は最盛期を迎える。現況では、海外物へのシフトの動きもそれほど大きくないため、需給はややタイトに推移する。
		鉄鋼業（経営者）	・秋口から年末にかけて計画された建築物件が、軒並み着工スケジュールが遅れ、年明けまでずれ込んでいる。予定通り着工されれば、春先にかけて需要は回復するであろう。ただし、来年度計画の大型物件は少なく、今後の需要動向が気がかりである。他方、需要の根底をなす中小物件は相変わらず低調であり、この点も気がかりである。
		建設業（総務担当）	・台風災害により、屋根工事や塗装工事等が多く、皆大きな仕事を抱えている。職種によっては他県より鹿児島に職人が大勢来ている。
変わらない		農林水産業（経営者）	・年末の特殊需要である程度は期待できるが、年明けは落ち込む。寒くなるにつれ、鳥インフルエンザの発生等による影響を危惧している。
		家具製造業（従業員）	・民間の設備投資や商業開発などの情報はある程度入っているが、東京での動きのようである。景気は変わらない。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	・百貨店向け、量販店向け等の店頭売り商品は、ほとんどがここ1年間変わらない。一方、最盛期の10、11月が台風や地震の影響で動きが悪かったため、来年もそれが続くのではないかと心配している。
		輸送用機械器具製造業（営業担当）	・メーカーが海外生産の方針を持っているため、国内生産は減少の一途である。
		輸送業（従業員）	・暖冬の影響で冬物の荷動きが低調である。また燃料代の高騰を補うため、運賃値上げ交渉を行っているが、春先ほどには交渉がうまくいかず、かえって値下げ要請を受けることが多くなってきた。この傾向が今後も続く。
		通信業（職員）	・今年度も残り一四半期となったが、大きな新規件名は見当たらず、好転の兆しは見えない。
		金融業（営業担当）	・個人の消費動向に一番影響を受ける小売店、飲食業の業績低迷が目立つ。この傾向が今後も続く。
		不動産業（従業員）	・賃貸オフィス物件の賃料が低迷気味で、回復傾向がみられない。
		広告代理店（従業員）	・官公庁や公的機関については地方、地域の特色を出したり、特産品の紹介、観光客の呼び込みなどのためのイベントやPR活動が比較的活発であるが、企業や商店街ではレギュラー広告の減少が続く等、依然として厳しい。
		広告代理店（従業員）	・業種による好調・不調が顕著で、景気の底上げが進んでいるとは思えない。住宅・流通・百貨店等が不調で、個人消費がまだ回復していない。この傾向が今後も続く。
		経営コンサルタント	・不良債権の処理がまだまだ残っており、これからも続きそうである。
		やや悪くなる	
電気機械器具製造業（経営者）	・生産量は不透明な中でも現状と変わらない状況とみられるが、12月からのコストダウン、品質のグレードアップ、納期の短縮化等に対応すれば、経費や収益面に影響が出てくる。大変厳しくなるため、やや悪くなる。		
精密機械器具製造業（経営者）	・現状の客や周りの状況を見ると、特に半導体関係の受注が減っている。それに付随して製造設備関連等も当然下がってくる。また、海外に進出しているメーカーが増えており、そちらに受注が少し動いていくことも考えられる。景気が少し悪くなってくる。		
輸送業（総務担当）	・全体的に荷動きが悪くなっている。特に衣料品の落ち込みがひどい。この傾向が今後も続く。		
通信業（経理担当）	・円高、原油高、地震、台風等の影響が長引けば、一時的に景気が落ち込む。		
悪くなる		繊維工業（営業担当）	・ここ2～3か月では受注は伸びない。軽衣料や婦人服関係の工場はまだ多いが、それに比べ繊維品は受注量が少ない。経営が困難なところも出てくる。
		電気機械器具製造業（経営者）	・リードフレーム、モールド等の半導体関連では、金型関係がここに来て非常に動きが鈍く、先行きも不透明である。半導体製造装置関連もこれに応じて停滞気味である。

		建設業（従業員）	・まだまだ我々の業界は、景気の底が依然としてみえない。入札でも多数の競合相手があり、利益確保も十分にできないような、厳しい現状が続く。
		経営コンサルタント	・発泡酒に加え焼酎も売れず、卸、小売店含め倒産、再編が多くなっている。今後も市場、業界ともに悪くなり、景気も悪くなる。
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	人材派遣会社（社員）	・パート、アルバイトから派遣に切り替える相談が増えている。派遣需要がプロ、アシスト派遣と二極化するものの、需要は伸びる見込みである。
		求人情報誌製作会社（総務担当）	・採用については、年次ギャップの解消の意味もあり、積極的な姿勢であることは変わらない。厳選採用ではあるが、採用予定数は前年に比べ増加している。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・進出企業の出現など若干のプラス材料が見えてきた。
	民間職業紹介機関（支店長）	・家電・エレクトロニクス業界にやや減速感を感じるが、派遣需要全体が大きく落ち込むまでには至っていない。3月までは堅調に推移する。また、大分や熊本を始め、大手企業の九州進出に伴う新規需要も期待できる。	
変わらない		人材派遣会社（社員）	・景気の回復ムードに勢いがなくなった。長期の受注のウエイトが20%ほど少なくなった。また、電子部品関係でスキルの高いCADの要請が多いが、条件を満たすスタッフがなかなかいない。
		求人情報誌製作会社（経営者）	・新潟や北海道での地震で、消費者は今も不安感でいっぱいである。暖冬の影響も含め、12月の商戦は苦戦する。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・求人数の動きはいいようであるが、周辺企業の様子では動きがないため、景気は変わらない。
		職業安定所（職員）	・企業が全体的に雇用を控え気味にしている。そのため、良くなっているとも言えないが、それ以上に悪くなるような感じもない。
		職業安定所（職員）	・新規求人数の増加が続いているが、引き続きパート求人や請負求人が占める割合が高まりを見せており、安定した雇用につながっていない。この傾向が今後も続く。
		職業安定所（職員）	・年末年始の商戦に入り雇用は増加するであろうが、一時的なものである。
		民間職業紹介機関（職員）	・全体的に大手求人枠が減少方向ではあるが、中小企業にて即戦力のニーズが活発化している。若手だけではなく、中堅から管理職層までの枠が目立つ。
	やや悪くなる	求人情報誌製作会社（編集者）	・労働市場はフリーターを頼みにした経営のために、フリーター不足になると経営がひっ迫する企業も出てくる。アウトソーシング、人材派遣業は人材確保が厳しくなる。
	悪くなる	-	-